



“ 中期経営計画を完遂し、
確実に**利益を上げる企業への変革**に
全力を尽くします ”

2012年3月期の業績概況

2012年3月期の世界経済は、前半は新興国を中心に緩やかな改善を続けましたが、夏以降は欧州の財政問題や新興国における輸出の伸び悩み等により減速しました。国内経済は、2011年3月に発生した東日本大震災の大きな落込みから着実に持ち直しておりましたが、後半は世界経済の減速や為替の歴史的円高の影響を受けて停滞

しました。

このような状況のなか、当社の2012年3月期の売上高は、連結対象会社の決算期を統一した影響*により226億円増加しましたが、為替が円高となったことや第2四半期連結会計期間以降、エレクトロニクス・半導体関連製品の需要が急減したこと等により、4,325億40百万円と前連結会計年度を

133億円上回るに留まりました。

利益面では、事業構造改革や固定費圧縮による原価低減効果等により、営業利益は19億66百万円、経常利益は9億27百万円と前連結会計年度を上回りました。また、中期経営計画に基づく諸施策の実行に伴い特別損失を計上したことから、当期純利益は227億58百万円の損失となりました。

中期経営計画の完遂に向けて

当社は中期経営計画「リニューアル・プラン“BRIDGE”」に基づき「経営基盤の強化と事業構造改革」及び「グローバル戦略の実行」に取り組んでいます。2012年3月期は、事業の選択と集中、国内営業体制の再編、欧州・北米地域のグループ会社統合を進めたほか、事業規模にあわせた国内人員の適正化を図りました。グローバ

ルな成長に向けては、海外事業運営体制の強化や海外現地生産化を推進しました。

当社を取り巻く経営環境は、世界経済の停滞懸念、円高の定着、国内の電力需給の逼迫等、不透明感を強めています。厳しい状況下ではありますが、事業構造改革の成果を利益につなげ、2013年3月期は売上高3,800億円、営業利益

120億円、当期純利益60億円の達成をめざします。

また、さまざまな変革を進める一方で、社会の一員として、法令遵守、環境保全、安全確保、人権尊重、情報セキュリティ管理といったCSR（企業の社会的責任）への取り組みについては変わらず注力してまいります。

株主の皆さまへ

2012年3月期の配当金につきましては、当社グループを取り巻く経営環境及び現下の業績、今後の事業戦略等を総合的に勘案し、中間配当及び期末配当ともに実施を見送らせていただきました。株主の皆様には、誠に申し訳なく、

深くお詫び申し上げます。

2013年3月期は中期経営計画の最終年度です。「高収益企業として復活を果たし、真のグローバル企業への変革を遂げる」という中期経営計画の基本方針のとおり、確実に利益を上げる企業への

変革に全力を尽くします。株主・投資家の皆さまには、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2012年7月

代表執行役 執行役社長

高橋秀明

* 当社は、2012年3月期において連結対象会社の決算期統一（3月期決算）を実施しました。2012年3月期の業績には、従来12月決算を行っていた海外連結子会社26社の15か月分、1月決算を行っていた海外連結子会社1社の14か月分の業績が含まれます。